

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

木楽を愉しむ家

グループの名称

木楽会

直近採択グループ番号

06-0379-0531

(グループ代表者)

代表者名

中畑 安伴

代表者印

代表者所属先

中畑木材株式会社

代表者所在地

大阪府堺市美原区木材通1丁目13番28号

代表者電話番号

07-2362-6616

(グループ事務局)

事務局事業者名

中畑木材株式会社

事務局担当者名

辻本 敏嗣

印

事務局郵便番号

587-0042

事務局所在地

大阪府堺市美原区木材通1丁目13番28号

事務局電話番号

072-362-6616

事務局FAX

072-362-3487

事務局担当者E-mail

tujimoto@nakahatamokuzai.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	木楽を愉しむ家
2. グループの名称(必須)	木楽会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0379-0531
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	近畿地区
5. 結成年(必須)	2013 年
6. グループ代表者名(必須)	中畑 安伴
7. グループ代表者の所属先(必須)	中畑木材株式会社
8. グループ代表者所在地(必須)	大阪府堺市美原区木材通1丁目13番28号
9. グループ代表者電話番号(必須)	07-2362-6616
10. グループ事務局事業者名(必須)	中畑木材株式会社
11. グループ事務局担当者名(必須)	辻本 敏嗣
12. グループ事務局郵便番号(必須)	587-0042
13. グループ事務局所在地(必須)	大阪府堺市美原区木材通1丁目13番28号
14. グループ事務局電話番号(必須)	072-362-6616
15. グループ事務局FAX番号(必須)	072-362-3487
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	tujimoto@nakahatamokuzai.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	12	
II. 製材・集成材製造・合板製造	27	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	12	
IV. プレカット	1	
V. 設計	8	
VI. 施工	28	
VII. 木材を扱わない流通	1	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPPC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明		国産材		3	国内
		外材		3	国外
		国産材		2	国内
		外材		2	国外
		国産材		2	国内
		国産材		2	国内
		外材		2	国外
		国産材		2	国内
		国産材		4	国内
		外材		4	国外
	大阪産材	大阪府	おおさか材認証制度	1	国内
	奈良県産材	奈良県	奈良県地域材認証制度	1	国内
奈良県産材	奈良県	奈良県産材証明制度	1	国内	

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		21	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	6	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	4	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		18	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	3	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	1	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		1	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		1	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟	図表			
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟	㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	本事業への参加を希望する工務店全社に最低1戸を配分し、その上でこれまで長期優良住宅・認定低炭素・性能向上計画認定の取り組みが無い工務店に優先的に配分を行う。								
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	22	戸	交付申請戸数	20	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	6	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型									
採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	棟	戸			
採択床面積	㎡	交付申請床面積	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	㎡				

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木楽を愉しむ家	(地域型住宅供給対象地域) 近畿地区
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 木楽会	(結成年) 2013年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0379-0531	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・長く安心して住める家づくりをテーマとして数百年に1度発生する地震の力に対して倒壊、崩壊しない程度の家の強度(耐震等級3を推奨し耐震等級2以上を確保)にこだわり、ヒートアイランド(熱帯夜など)にも考慮した省エネ性の高い快適な家づくりを目指します。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・巨大地震に対しての身の安全を考慮する為に、耐震等級3を推奨し耐震等級2以上を確保する。 ・巨大地震発生後、速やかに避難を始められるような動線の取り入れを積極的に活用する。 ・省エネ性能として断熱等級4以上を確保する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・建築物の形態は良好な住宅地としての環境にふさわしい落ち着いた、佇まいとすると共に、屋根及び外壁又はこれらに代わる柱の色彩は、周囲の環境に調和したものとし刺激的・奇抜な色を避けることとする。	◎
④①～③の背景	・大阪府の森林は、府域の約3割を占め北から三山系からなり、大都市を取り囲むように形成されている地域である。また、都市部でのヒートアイランド現象は年々拡大しており、真夏日、熱帯夜の日数もここ30年間で著しく増加の一途を辿っている。また、東日本大震災以降、日本全国での大震災が起こる確率は格段の上になっており、行政も警鐘をならしている。大阪府も例外でなく、大阪湾10市3町の中に含まれている地域あることを考慮する。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・全棟地盤調査を行い適切な改良を行った後、10年間の地盤保険を推奨する。 ・完成保証への加入(任意)を行ない、引渡しに関する安心感を持って頂くように努める。	○
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・グループでの地域型住宅に使用する建材や設備機器の選定を行い、用材の寸法規格化の統一を目指します。	○
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・グループでの地域型住宅に使用する建材や設備機器の選定を行い、用材の寸法規格化の統一を目指します。	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・グループでの地域型住宅に使用する建材や設備機器の選定を行い、用材の寸法規格化の統一を目指します。	○
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・あらかじめ使用量の多い建材については供給業者と協力してリストなどを活用し、円滑な供給体制を構築する。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・事務局が中心となり調達事務の合理化を行う。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・事務局が中心になり、より合理化に向けて今後検討委員会を設置する。	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が中心になり、より合理化に向けて今後検討委員会を設置する。	○
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・長期優良住宅や低炭素住宅・性能向上計画認定住宅・ゼロエネ住宅などのマニュアル等を用いて、技術基準の平準化を目指します。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループ独自のチェックリストを用いて、ルールの順守を確認する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・現状構成工務店の作成している見積り・積算が統一になっていない為、事務局は中心となって、透明性のある見積り・積算を行えるように支援します。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・引渡し後の住宅で長期間快適・安心に過ごして頂ける為のメンテナンスの重要性について説明を行い、長寿寿命のメンテナンス計画を提示します。	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が中心となり、グループ全体で働き方改革を進め週休2日を推進していきます。	○
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が中心となりグループ全体で技能や経験にふさわしい処遇の実現を行います。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が中心となり、社会保険加入の徹底に向けた環境を整備する。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が中心となり、現場作業者の安全対策や健康面を考えた現場環境を整える勉強会や指導を行います。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・施工様に地域材(「おおさか材認証制度」、「奈良県地域材認証制度」、「奈良県産材証明制度」)の現物サンプルなどを直に触れて頂き、質の良さを感じて頂きより多くを採用して頂くように努めます。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木楽を愉しむ家	(地域型住宅供給対象地域) 近畿地区	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 木楽会	(結成年) 2013 年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0379-0531		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 30年間にわたって1年・3年・5年・10年・20年・30年など必要に応じて点検の案内や点検を行う。	○
		①-2 情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅履歴管理サービス「住宅履歴の図書館」を活用する。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局にて点検報告をお施主様と工務店で共有化し管理する。	○
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・点検報告やお施主様へのヒヤリングに基づき、長寿命化メンテナンスやリフォームの提案、実施を行います。	○
		②-2 補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・ヒヤリングに基づき補修計画を立て、定期的・的確な補修管理をする。	○
		②-3 点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・ヒヤリングに基づき補修計画を立て、定期的・的確な補修管理をする。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・和泉市林業協議会などのイベントに参加し、勉強会の取り組みを行います。(年1回)	○
		③-2 DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・和泉市林業協議会などのイベントに参加し、DIY体験会等の取り組みを行います。(年1回)	○
		③-3 その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・構成員の流通業者のフェアにも積極的に参加し、グループ全体として情報発信を強化する。(年1回)	○
	④ 維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局と設計事務所などの構成員などで構成し、検討を考えます。	○	
⑤ その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・廃業などの物理的問題が構成員に生じた場合、維持保全計画書やメンテナンス完了報告などを基に、グループ内で議論・共有し再発を防ぐ。	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・この事業に関わっていない物件も含め、瑕疵保険の加入物件で瑕疵が発生した際には、原因などをグループ内で議論・共有し再発を防ぐ。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		・メンテナンス時に災害の備え(水や食料)の賞味期限などのチェックを行い、防災・減災の備えを促す。 ・建築地に合わせて洪水や高波などのハザードマップをお客様に配布し避難経路や避難場所の確認などを促す。	○
エ. グループの技術力の向上			
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループ構成員が作成した「長期優良住宅マニュアル」や「認定低炭素住宅マニュアル」・「性能向上計画住宅」などを活用し、勉強会なども開催します。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が中心となり長期優良住宅や低炭素住宅・性能向上計画住宅の活用実績のある構成工務店指導が出来る体制を整え、グループ全体として品質管理を高める。	○	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局にて適切に実施状況を確認する。	○	
	③-1 需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が需給計画を立てグループ構成員内で共有認識が計れるように努める。	○	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・長期優良住宅リフォームや中古住宅の流通などにも活用できるような施工者向け勉強会や【フラット35】Sや省エネ方法などがお施主様への提案出来るように取り組む。	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が各構成グループごとに横の繋がりを持つ機会を積極的に作り、意見などに活かしながら、合理化を図ります。	◎	
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 32 今年度の参加目標人数 5	◎
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 32 今年度の参加目標人数 5		◎	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・メールなどによる講習会の案内を行うと共に構成員訪問時や打合せの際には参加を直接促します。		◎	
c	① 新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・省エネ性の高い商材や施工技術向上など、メーカーと流通事業者と事務局が協力して、案内・提案を行います。	◎	
	② 新たな技術等の開発 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・導入した物件で、その他の構成員向けの現場見学会を行い、実証結果などの報告を行い導入を促します。	○	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		・HEMSなどの省エネに効果が見込まれる機器などの納品が少なく、まだまだ認識は低いと考えられる。長期優良住宅に取り組めた工務店は認定低炭素住宅・性能向上計画住宅やゼロエネ住宅にチャレンジできるような取り組みとして事務局が中心となって勉強会や研修会を行う。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 木楽を愉しむ家	(地域型住宅供給対象地域) 近畿地区																								
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 木楽会	(結成年) 2013 年																								
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0379-0531																									
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。																										
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与																										
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄																								
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	・主要構造材(梁・柱・桁・土台)の過半以上に指定地域材(5立米以上)と羽柄材や外装仕上材・内装仕上材・カウンター材などにもグループ指定の地域材(特におおさか材認証制度・奈良県地域材認証制度・奈良県産材証明制度)の0.16立米以上を使用する ・使用する地域材は「おおさか材認証制度」、「奈良県地域材認証制度」、「奈良県産材証明制度」、「合法木材認証制度」のいずれかとし、事務局にて産地を明確にします。	◎																							
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎																							
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">主要構造材</td> <td>土台:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>柱:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等:</td> <td><input type="checkbox"/> 使用していない</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	柱:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している	◎
主要構造材	土台:	<input type="checkbox"/> 使用していない		<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																						
	柱:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																							
	梁・桁等の横架材等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																							
羽柄材	間柱、根太、垂木等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																							
造作材	枠材、廻縁等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																							
板材	壁板、床板等:	<input type="checkbox"/> 使用していない	<input checked="" type="checkbox"/> 使用している																							
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	<p>・一部、施工グループの構成員において、全て手刻みによる可能性がある為、地域材の供給の流れ中で、製材・集成材・合板グループから直接購入を行う場合がある。また、一部物流グループを介さずに、地域材の調達を行う場合がある。(一部プレカットを使用する場合)</p> <p>●原木供給者が海外である為原木出荷が適合していることを以下に示す。</p> <p>1) 以下に該当する認定制度に基づく証明書の添付PEFC森林認証制度: 森林経営の持続性や環境保全への配慮などについて民間の第三者機関により認証された森林から算出される木材・木材製品</p> <p>2) 原木の産出国がわかる書類の雛形の添付※製材・集成材・合板グループに所属する出荷者による合法性の証明によって代替える。</p>																								
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・あらかじめ使用量が判明している物件に関しては、木材流通業者が在庫し対応します。	◎																							
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・原木・製材事業者より供給に関する情報を随時確認しながら供給に支障のないように行っています。	◎																							
	② グループ全体における地域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・供給量を確保する為、資材の一元管理を今まで以上に促し、流通業者と事務局は中心となって需要と供給のバランスを図ります	◎																							
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・和室や畳コーナーの提案を推奨して不採用の場合は置き畳2畳分を使用して頂きます。	◎																							
	①-2 和瓦の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:																								
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・和室や畳コーナーの提案を推奨して襖の活用を促します。	○																							
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・和室や畳コーナーの提案を推奨して障子の活用を促します。	○																							
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・大阪産材や奈良県産材(グループ指定)を積極的に和室造作、外装材、内装材、仕上げ材に活用するように事務局から発信する	○																							
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・その他の地域の伝統的な意匠を積極的に取り組む。	○																							
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・伝統的なデザインを取り入れ、外部講師を招き、新しい知識や技術を取り入れていきます。	○																							
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・三世同居住宅など、“良き暮らしの知恵や文化”の提案なども積極的に行います。	○																							
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・建設地周辺の歴史的背景などを確認し、建築物の形態は良好な住宅地としての環境にふさわしい落ち着いた佇まいとする。	○																							
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・地域材を和の住まいと洋の住まいを融合できるような暮らしの場を提案します。	○																							
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・事務局と構成員工務店が協力を行い地域材(おおさか材認証制度・奈良県地域材認証制度・奈良県産材証明制度)を外装仕上材・内装仕上材・カウンター材を和と洋の融合した住まいの提案に努めます。																								
カ. その他																										
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄																								
	東日本大震災の復興に資する取組	・長尺サイズの構造用針葉樹を東北地方の合板メーカーより購入し、積極的な利用を行います。	◎																							
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	・構成員全員は熊本県産の復興資材を使用するよう心がける。	○																							

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

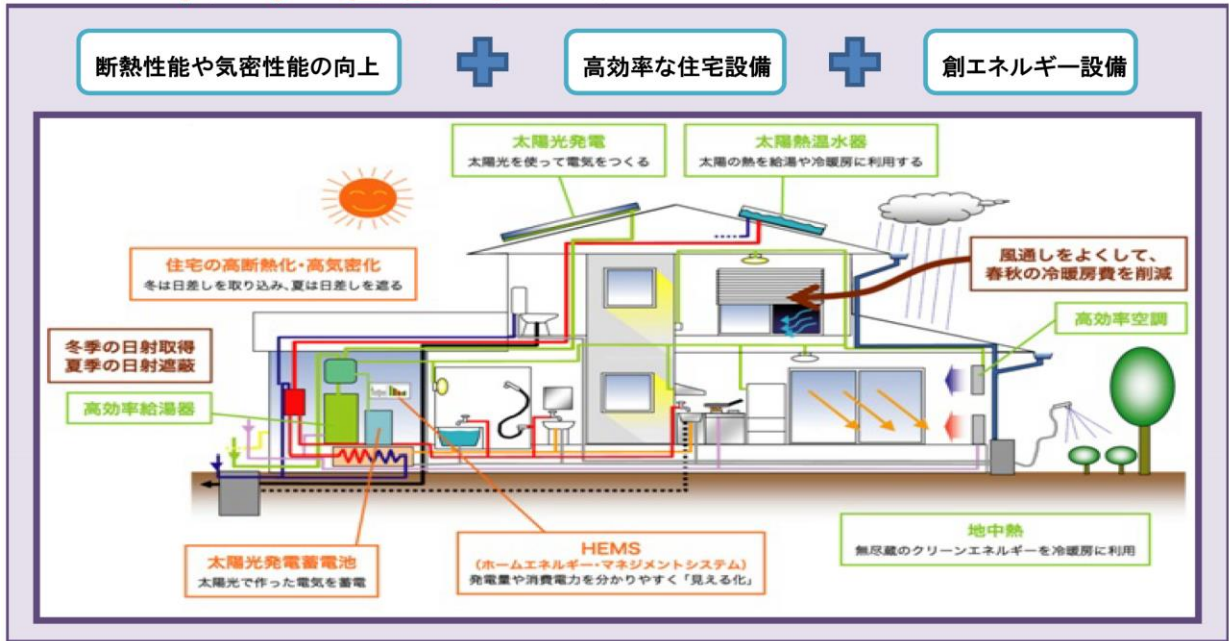
1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 木楽を愉しむ家	(地域型住宅供給対象地域) 近畿地区
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 木楽会	(結成年) 2013 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0379-0531	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

- ◆高度省エネ型
 - ・省エネ法の省エネルギー基準より、1次エネルギー消費量を10%以上の削減を行う。
 - ・その他の措置に関する項目を2項目以上を採用する。
 - ・建物性能をお施主様でも判りやすいグラフや1次エネルギー消費量などを計算した結果シートを提示する。

ゼロ・エネルギー住宅のイメージ



※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。